

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

- 1 -

政策Ⅰ『文化』 未来を拓く人を育む 文化のまち

項 目 等	委 員 の 意 見	市 の 対 応 等
施策【1】 地域文化の継承・発展 主要施策【(1)】 市民文化の創造の促進 指標【4】 【教育委員会】	資料館等への来場者数を増加させることは、地域文化資料を市民に公開する指標にはなる。が、例えば市庁舎のホールやロビーに資料展示することなどは、来場者データを把握することの困難さはあるが、公開の効果が高いので工夫の余地があるのでは。	民俗資料館資料の展示を庁舎のロビー、ホールで公開することは可能（新庁舎の対応が現在未定）です。しかし、有料施設の展示物を無料にして展示することも含め、どのような展示が有効か検討させていただきたく思います。
施策【2】 国際交流の推進 主要施策【(1)】 国際化施策の推進 指標【5】 【企画部】	在留外国人と地域との交流機会はできるだけ増やすことが大切なので、市報の一面に姉妹都市交流欄を設けて、定期的に交流協会から記事を掲載してもらうような検討をお願いしたい。	現在、国際交流協会において、年に2回、会員向けの会報誌を発行したり、協会のホームページの中で姉妹都市との交流や市内留学生等との交流などについて情報を発信していただいております。協会のイベントや姉妹都市との交換留学生の訪問等の際には記事として広報かどうにも掲載しております。今後、定期的な記事の掲載等協会とも協議し検討してまいります。
施策【4】 生涯学習の充実 主要施策【(1)】 生涯学習を支える基盤整備 指標【3】 【教育委員会】	公民館、コミュニティでの自主的な文化活動は、地域の活性化、一人ひとりの市民に益々重要となっている。発表の場を広げ、魅力あるものとするため、特に高齢者のグループ作りを支援する工夫が望まれている。	公民館やコミュニティセンターを中心に繰り広げられている文化サークルによる文化活動は、「指標とその目標」にお示しさせていただいておりますとおり、合併後5年間でおよそ倍増し、これからも支援し伸ばしていこうと目標値を設定しております。 現在、合併前から長く続いている公民館等の文化サークルでは、高齢者が多数を占められ、新しい会員募集に奔走している状況で、公民館の登録団体を紹介している「いぎない」やホームページ等を活用し、募っています。また、高齢者大学の部活動育成にも力を入れ、パソコンやコーラス、銭太鼓等の文化クラブは積極的に活動されています。 なお、新たな高齢者向けのサークル作りにつきましては、高齢者だけのサークルを望まれておられるならば相応の対応で支援させていただきますが、今、公民館では、高齢者だけというよりも2世代、3世代といった世代間が交流できるサークルが大切だとも考えております。

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

政策Ⅰ『文化』 未来を拓く人を育む 文化のまち

項 目 等	委 員 の 意 見	市 の 対 応 等
<p>施策【5】 スポーツ・レクリエーションの推進 主要施策【(1)】 生涯スポーツ・レクリエーションの推進 指標【3、5】 【教育委員会】 【企画部】</p>	<p>高齢化社会での健康増進、保健活動と生涯スポーツ・レクリエーションの推進をセットで市民に対する施策を検討・評価する方向で、指標3、5を別の指標として再度見直せないものか。（指標は変更不可なのか。）</p>	<p>現在、市の生涯スポーツにおきましては、全ての事業で技能向上のみに偏らず、市民の健康増進も目的に開催しています。市主催の秋の「ふれあい球技大会」では、ゲートボール・グラウンドゴルフ・ペタンク・卓球といった高齢者も参加できる競技（健康増進事業）も実施しております。</p> <p>また、『加東市ふれあいパラリンピック』には市のスポーツ推進委員を派遣するなど、福祉、保健担当課とも調整しながら、それぞれに協調できるところは互いに助け合い、実施しております。</p> <p>後期基本計画に掲載している指標の3つ目と5つ目については、市の取組の2つ目「グループや人材の育成と指導体制の充実」という項目を評価するのに重要な指標と捉えております。新たな指標については、別枠で設けることは可能と考えますので、実際の事務事業の中で複合的に評価できる指標の設定も検討したいと思います。</p>

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

政策Ⅱ『安全』 人と自然が調和した 安全なまち

項 目 等	委 員 の 意 見	市 の 対 応 等
施策【2】 環境にやさしい暮らしづくり 主要施策【(3)】 廃棄物の減量・リサイクルの推進 指標【3】 【市民安全部】	加東市が「家庭ごみの少なさ」で県内トップとなったことはよかったです。 ごみを減らす意識が全市民に広がっていることがわかり、これからもずっとこの状態が保持できるよう、家庭、地域全体で協力していきたいものです。	加東市ごみ処理基本計画を推進し、市民・事業者・市が一体となって、さらなるごみの減量・資源化に取り組みます。

項 目 等	委 員 の 意 見	市 の 対 応 等
<p>施策【2】健康づくりの充実 主要施策【(1)】 健康増進の推進 指標【5】 【市民安全部】</p>	<p>少子高齢化の時代にあって、予防安心を前提として健康増進の推進がより一層重要となる。 サンサンチャレンジの達成率が少々低いようなので、この施策を幅広いものに修正して、生涯の健康づくりスポーツの支援など工夫する余地があるのでは。</p>	<p>サンサンチャレンジは市民一体となって楽しく健康づくりにチャレンジする市民運動を展開することにより、糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症リスクを低減させ、地域全体の健康度を底上げすることを目的としています。 これらの取組を実施している市町は全国でも少なく、達成率の比較は困難ですが、過去6年間の3kg減量達成者は24.6%であり、糖尿病発症リスクが半減と言われる2kg減量の達成者は39.5%です。 本事業では、プログラム内容がシンプルで自由度があることやメール支援等により非対面で多数の方への支援が可能であることなどが、これまで健康づくり事業に参加しにくかった若い世代や男性、BMIが高い層の参加が得られ、年々参加者数も増加しています。(H19:314名→H25:971名)継続参加者も多くみられますが、参加回数が増加するほど、体重は減少しており、特に3回以上参加された方は平均約3kgの減量効果が得られています。また、個々の健康意識を向上し、主体的に日常生活の中で健康づくりに取り組めるよう食事や運動についての啓発をしており、事業参加前に比べ、3か月後には週に150分以上の運動をする方の割合が3.6%増加し、週に60分以上の運動をする方も9.2%増加しています。 これらの結果から、本事業が生活習慣の改善につながり、生活習慣病の予防効果が期待できるものと認識し、今後も継続して実施していきたいと考えています。 今後は、さらに健康づくりが拡大するよう本事業の中で、市内スポーツ事業との連携も検討していきます。</p>
<p>施策【5】医療の充実 主要施策【(1)】 地域医療サービスの充実 指標【-】 【加東市民病院】</p>	<p>後期基本計画の市の取組②〔加東市民病院の充実〕の中で、「市民病院は地域の中核病院としての役割を果たしていきます。」とあり、また、「今後の地域における加東市民病院の役割と位置付けを明確にしていきます。」とありますが、市民病院の役割と位置付けについてどの様にとらえているのかが、はっきりとわかりません。とらえ方によって、指標の表し方も変わってくるのではないのでしょうか。</p>	<p>北播磨医療圏域内において急性期医療体制の充実が進む中、限られた医療資源を効果的に活用し、圏域内での機能分担の推進と特色ある医療サービスを提供することが必要です。このため、高齢化社会の進展とともに、ますます需要が拡大すると見込まれる「在宅医療」に重点を置いた包括的で質の高いサービスを提供するために、組織の改革と併せて保健、介護分野との連携を強化して参ります。</p>

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

政策Ⅲ『安心』 健やかで心がふれあう やさしいまち

項目等	委員の意見	市の対応等
<p>施策【5】医療の充実 主要施策【(1)】 地域医療サービスの充実 指標【5】 【加東市民病院】</p>	<p>北播磨地域の医療機関の再編整備により、加東市民病院に期待される医療も少し変化していると思料される。 人間ドックの担当医師の補充が今後を見通してどうかを勘案して、病院の特色をもう少し持たせるなど、検討の余地はないか。</p>	<p>常勤医師の減少が続く厳しい状況ではありますが、常勤医師が不足する専門的な医療については、近隣医療機関との相互応援協定に基づく医師派遣などにより、医療サービスの維持、拡充に努めます。</p>

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

政策Ⅳ『活力』 魅力ある資源を活かした 誇りのもてるまち

項目等	委員の意見	市の対応等
<p>施策【1】農業の高度化 主要施策【(1)】 農業の活性化 指標【-】 【地域整備部】</p>	<p>安定した農業経営についての質問です。昭和40年代に米が余り、以来、米の価格を安定させるための政策であった減反を、5年後に廃止すると新聞などで報道されています。現在の価格が下落しても問題ないというモデル経営や、これからの農業についてのビジョンが出来ているはずですが、減反政策廃止の根拠については、加東市に説明などあったのでしょうか。</p>	<p>国の減反政策については、5年後に国が直接関わることから撤退し、国の関係機関が、日本人の米離れや輸入米などを踏まえた需給バランスについて今後の見通しを検証し、情報を適時開示することで、国家レベルで生産者や集荷団体の主体的な判断で需給に応じた生産が行える環境づくりを主導的に検討しているものです。減反政策廃止に係る明確な根拠は示されていません。</p>
<p>施策【1】農業の高度化 主要施策【(1)】 農業の活性化 指標【-】 【地域整備部】</p>	<p>TPPによる影響で、さらに物が有り余るなか、現時点ですでに問題になっている食品偽装もなく、安心した農産物が食卓に並ぶとは思えません。個人や農業団体は、地元産を選んでもらう為のイベント参加や講演会、団体活動を通じて機会を作ってはいますが、農業に携わる人以外にも地産地消の意識を持ってもらえる良い方法などを考えていただきたいです。</p>	<p>地元農産物と触れ合えるイベント等の開催により、市内外の利用者の交流を図るとともに、道の駅などの直売所の活用により、地域で採れた農産物の品数や品質の良さを知ってもらう取組を進めていますが、JAや関係グループによる主体的な参加が必要であり、更なる取組を要請していきたいと考えます。</p>
<p>施策【1】農業の高度化 主要施策【(1)】 農業の活性化 指標【-】 【地域整備部】</p>	<p>環境問題については、水田が減り、荒地が増えることで、温暖化や台風による水害、有害鳥獣の被害といった問題も出てきます。農業の重要度が地域に伝わり、安定した農業経営（価格維持につながる消費拡大や有害鳥獣の被害のない生産基盤の整備）は、近隣市町とも連携が必要になると考えられるのですが、具体的な話し合いや機会はあるのでしょうか。</p>	<p>農業政策や鳥獣対策政策においては、県下または北播磨地域単位で、国や県主催のセミナーや制度説明会、各種研修会（経営所得安定対策、担い手対策、酒米振興、有害鳥獣対策、耕作放棄地対策）が開催されており、積極的に参加することで、他地域との情報交換や意見交換を行っています。</p>
<p>施策【1】農業の高度化 主要施策【(1)】 農業の活性化 指標【-】 【地域整備部】</p>	<p>減反政策の廃止をする方針が先ごろ決定されました。まだまだ不透明ですが、大規模農家の競争力を高め日本の農業を強固なものへ、転換する狙いがあるそうですが、農業法人を市の協力の基に新たな起業として注目してはいかがでしょうか。</p>	<p>現状の小規模農業者では、経営が立ちいかなくなっていることは事実であり、更なる担い手の高齢化や農業離れを考えると、今後の農業の担い手を確保するための政策として、農業の企業化に向けた取組は不可欠であると考えます。ただ一方で、農業への企業参入については農地法の運用緩和がセットと考えられるので、この部分についても今後、注目していきたいと考えます。</p>
<p>施策【2】森林の保全・活用 主要施策【(1)】 森林の保全と活用 指標【-】 【地域整備部】</p>	<p>里山をはじめ、竹藪の手入れが行き届かず荒れている状況に心痛めることが多い。北播磨地域でも林の多い加東市では森林の活用と保全育成のため、環境学習の一環として「どんぐりの林育成プロジェクト（仮称）」を地方森林組合の協力を得て立ち上げるなど、緑の保全グループ育成に一層取り組んでほしい。</p>	<p>加東市においては、（ゴルフ場や別荘地開発が多いため）民有林が少なく、地域住民の里山保全に対する意識が薄いのが現状です。一方では、企業の森や一部の市民グループが森づくりや里山保全を積極的に行っており、そのような取組をきっかけとして、グループ支援を検討していきたいと考えます。</p>

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

- 7 -

政策Ⅳ『活力』 魅力ある資源を活かした 誇りのもてるまち

項 目 等	委 員 の 意 見	市 の 対 応 等
<p>施策【3】 地域産業の活性化 主要施策【(1)】 地域産業の活性化 指標【-】 【地域整備部】</p>	<p>地球温暖化対策やエコ、省資源対策で「ケナフ」が注目される中、今夏は少し育ててみた。日誌は整理中であるが、第一次産業（農業など）として遊休農地でプロジェクトとして試行するのも一考かと思う。淡路地域では、取り組んでいるグループがあると聞いている。</p>	<p>ケナフは成長が早いため、二酸化炭素を吸収する植物として、また、紙の原料として木材の代替物と考えられ、一時期各地で栽培されました。一方、繁殖力が強く、帰化した場合の在来種への影響が問題視されています。現時点ではケナフの環境に対する有用性は確認されてはいるものの、メリット、デメリットについての明確な見解はでない状況で、遊休農地での試験的なものはあるようですが、転換作物としての認識はされていないようです。</p>

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

政策Ⅴ『快適』 暮らしと憩いが響きあう 心地よいまち

項目等	委員の意見	市の対応等
<p>施策【1】 まち並みづくり 主要施策【(1)】 土地利用・まち並み整備の総合的推進 指標【-】 【建設部】</p>	<p>市街地中心部周辺では、新しい住宅計画に当たって、景観や修景に配慮された事例も増えている。住宅でのエクステリアと街路の調和など建築文化に関心を寄せ、学びながら生活環境向上に一步一步努力する市民活動グループと連携できれば参加したいと思う。</p>	<p>市民が中心となって、地域の住環境について考える機運を高めるとともに、地区計画や特別指定区域などの制度を適切に活用し、地域の特性を活かした良好な景観や美しいまち並み形成を、市民との協働により取り組みます。</p>
<p>施策【1】 まち並みづくり 主要施策【(1)】 土地利用・まち並み整備の総合的推進 指標【1、3】 【地域整備部】</p>	<p>この項目では、緑化活動実施団体数の数値なので、個人活動が捉えにくいのは仕方ありませんが、まち並み緑化、沿線緑化に参加する人々は数多くいらっしゃいます。小さな活動も加味するならば満点と認めていいのではないのでしょうか。</p>	<p>緑化や美化活動では、地域に花と緑による潤いを与え、自分たちの街の誇りとするために、各地区への花苗の配布や関連イベントを通じ、より多くの市民の緑化意識の高まりを誘引しています。 また、市民の活動により、コミュニティの醸成と協働のまちづくりへの参加が図られていると認識しています。</p>
<p>施策【4】 情報通信サービスの充実 主要施策【(1)】 CATVなどによる行政サービスと市民交流の促進 指標【-】 【企画部】</p>	<p>平成25年11月22日、第3回市民会議でご説明のあった次の件で、その内容がわかりづらかったので、再度補足していただきたい。 平成28年度、ケーブルテレビの民間移行計画（指標の変更があるとのことですが…）</p>	<p>加東ケーブルビジョン（KCV）の老朽化対策とともに市民の情報に対する多様なニーズにタイムリーにお応えするため、KCVサービスの内、インターネット、光電話、BS、CS放送は、平成28年4月から関西電力系の通信会社、ケイ・オプティコムのエオ光サービスに移行します。お楽しみいただいている自主放送をはじめ、文字放送、音声告知放送は引き続き市で制作し、エオ光サービスにより提供します。このことにより、指標である加入者数を当初7,800世帯から現在加入者の9,400世帯とします。</p>
<p>施策【6】 公共交通機関などの整備 主要施策【(1)】 総合的な交通体系の確立 指標【-】 【企画部】</p>	<p>県中央部の加東市は、JR加古川線に3駅、中国自動車道に2つのインターチェンジ、旧国道175号に路線バスが走行し恵まれている。 エコ時代に最適の交通手段利用システムを工夫するなど、研究しながら生活していきたい。</p>	<p>公共交通機関は、学生や高齢者の方など車の運転ができない人の重要な移動手段であるとともに、地球温暖化の防止など環境負荷の低減につながる大変エコな乗り物です。市では、公共交通機関が果たす役割に鑑み、多くの方に利用してもらえよう、その啓発に努めていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。</p>
<p>施策【6】 公共交通機関などの整備 主要施策【(1)】 総合的な交通体系の確立 指標【1】 【企画部】</p>	<p>交通手段の確保に対する満足度に関係する事ですが、バス路線の利便性を考慮した交通網の整備もお願いします。 というのは、近所に住むお年寄りの方が、「市民病院の帰りに少し買い物をして帰りたいけど、バス停からBioまでの道のりが遠くて腰が痛くなる」と、言っていました。どうやら近くにバス停が無いらしいです。</p>	<p>公共交通の満足度を上げるためには、利便性の向上は欠かせません。しかし、バス停を多く作ることによって、目的地までの時間がかかると、逆効果になることも考えられます。 今回のご意見は事業者へ伝え、協議を行っていきたく思います。 なお、Bioに最も近いバス停は社総合庁舎前で、距離は約300mです。</p>

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

政策VI『協働』 多様なきずなが織りなす 協働のまち

項 目 等	委 員 の 意 見	市 の 対 応 等
施策【2】コミュニティづくり 主要施策【(1)】 地域コミュニティの活性化 指標【-】 【企画部】	田園林間都市加東を輝くまちにするために、今一番必要で求められているのは、広域的なまちづくり意識と技術・技能を持った実務グループであると信じます。 これらの人材を育成支援する活動拠点（文教府）としてのコミュニティ施設（公民館など）を活性化しましょう。	公民館については、地域コミュニティの育成・醸成だけでなく、地域の課題解決に対応できる機能を付加する方向で検討していきます。

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

項目等	委員の意見	市の対応等
<p>施策【1】 行財政の改革 主要施策【(2)】 人材育成と行政組織の活性化 指標【1】 【総務部】</p>	<p>指標1「市の職員数」は、他の委員から質問もあったように、変動がないことを前提にした目標値はあまり意味がないと思います。 職員数を減らすことが単純によいとはいえ、また増やすことも、それなりの計画があつてのことでしょうから、現段階で、特に変動が予想されないのなら、職員数を指標に掲げる意味はないと考えます。 むしろ、指摘があつたように、研修内容の新設・拡充や組織横断的な新プロジェクト組織の新設数など、前向きで新しい指標を設定すべきと考えます。</p>	<p>総合計画の指標として定員適正化計画に基づき、「市の職員数」を設定しているため、総合計画進行管理という点からは必要であると考えます。 ただし、第2次行財政改革中間とりまとめの観点からの行革指針としては不要と考え削除します。 また、ご指摘の研修内容の新設・拡充、プロジェクト組織の新設については、横断的な検討が必要な事案が生じた時点で積極的に新設・設置する方向で進めてまいります。 平成25年度においては、全課長による事務改善や施設所管の担当者等による公共施設適正化の検討など、プロジェクト組織により行った実績があります。 よって、新設数等を目標とすることはふさわしくないと考え、新たな指標設定は行わないこととします。</p>
<p>施策【1】 行財政の改革 主要施策【(3)】 透明で公正な行政の推進 指標【-】 【企画部】</p>	<p>「地域リポーターの設置」について提案させていただきました。 市の広報担当者の方が情報収集のため毎日、市内をくまなく巡回されるのも大変だと思ったので、いくつかの地域にリポーターを置かれ、それぞれ話題をその都度お知らせするのも、一つの方法かと思いました。</p>	<p>毎月、発行している「広報かとう」には、多くの取材依頼が現時点でもあり、また、地区区長からも地区の年間行事など情報をいただいております、広報担当者が巡回し大変であるということはありません。 しかし、「地域リポーター制度」については、他の市でも実施しており、ユニークな取組であると思います。提供される情報の公共性が担保されるかなどの点も考慮しながら、実施の可否について検討したいと思います。</p>
<p>施策【2】 行政運営の推進 主要施策【(1)】 適正な行政運営による市民サービスの向上 指標【-】 【企画部】</p>	<p>あるべき姿に掲げる「多様な市民のニーズに迅速・的確・親切・丁寧に、笑顔で対応」を評価する指標が必要と思います。市民の満足度調査が不可欠と思います。 まだ、この項目に関するアンケート実施がないのなら、次回アンケートには必須質問項目として、評価シートには指標として載せるべきだと思います。</p>	<p>2月24日までは旧3庁舎ロビーで、それ以降は新庁舎ロビーにおいて行政評価アンケートを行っており、職員の接遇態度などの評価を受けています。「あいさつ、身だしなみ、言葉使い、職務態度、説明のわかりやすさ」を5段階で評価してもらい、市民の満足度調査を行っています。その結果は、毎年、とりまとめると共に、市ホームページに公開しています。</p>

総合計画進捗状況に関する意見及び市の対応

項目等	委員の意見	市の対応等
<p>施策【2】 行政運営の推進 主要施策【(1)】 適正な行政運営による市民サービスの向上 指標【2】 【地域整備部】</p>	<p>指定管理施設について、現在の指定管理施設の中で、やしろ鴨川の郷、滝野温泉ぼかぼがあります。公共施設マネジメント白書において、経営赤字が年々増加傾向にあり、指定管理料も年々増加しております。また、3か年実施計画においては今後、鴨川の郷で約1億2700万円、ぼかぼで約2億3200万円の事業費が見込まれています。今後のあり方や方向性については何か検討されているのですか。</p> <p>また、公共施設マネジメント白書において、使用料と指定管理料+借地料の差し引きで収支となっていますが、使用料は市の収入なのでしょう。気になったのは、業者の利益と、業者側のモチベーションがどこにあるのかなと思っただけです。</p> <p>使用料が業者側の利益だとしたら、まず、使用者を増やす事を考え、その為にはどのようなサービス、投資、営業などを行えばよいのか試行錯誤すると思います。業者側の努力の甲斐もなく、使用者が年々減少傾向にあるのなら、業者を変更するなどの策も必要ではないでしょうか。他の施設も含めて現在の業者との契約、また、指定管理制度による運営でよいのか検証・見直しもまた必要ではないでしょうか。</p>	<p>今後のあり方や方向性について、「やしろ鴨川の郷」では、宿泊客増加を目指し、ゴルフ客をターゲットにした近隣ゴルフ場との連携（平成25年度上半期で9組35名宿泊）や、学生団体等へのテニス合宿の誘致（平成25年度1校）により誘客増に取り組んでいます。また、指定管理料は本館あぐりぴあ等の維持管理経費や運営人件費に当てられており、各種教室（平成25年度上半期21講座1,243名受講：3講座151名増）の開講により稼働率アップに取り組んでいますが、あぐりぴあ施設内レストランの撤退や施設の老朽化などによる利用客の減少も見られることから、今後これらを踏まえ指定管理内容の検討を行います。</p> <p>「滝野温泉ぼかぼ」においては、平成25年度から営業時間の延長と、休館日を月一回とする営業努力を行うとともに、優待券の発行やイベント開催などの誘客努力を行っています。5月から6月にかけての源泉修繕工事期間においては利用客の減少が見られましたが、7月のリニューアルオープン後は前年同時期より増加に転じています。さらに、今年度取り組んだ活性化プロジェクトにより、今後、播磨中央公園とコラボしたイベント開催や、レストランのメニュー改善などにより、5年後を目標に年間利用客18万人（対24年度25%増）、使用料9,000万円（対24年度28.5%増）を目指します。</p> <p>徴収している施設使用料はすべて加東市の収入となりますが、より多くの方に利用いただき、使用料等の収入増加につなげるため、職員の接客研修やミーティングなどを行い、指定管理者としてモチベーションを上げる運営を目指していきます。</p> <p>今後の指定管理制度による運営の是非については、それぞれの施設において経営改善に努めながら、利用状況、収支状況を見極め、検証・見直しを行います。</p>